

第 3 期飯山市環境基本計画策定に係る
アンケート調査結果報告書
(事業所編)

目次

1)	調査の概要	1
2)	集計方法	1
3)	調査結果	2
1	貴事業所のことについて	2
2	貴事業所の取り組みについて	4
3	環境問題に対する役割について	9
	自由意見まとめ	12

1) 調査の概要

(1) 調査の目的

平成 23 年度に策定した、第 2 期飯山市環境基本計画が令和 3 年度をもって計画期間を終了することに伴い、新たに今後 10 年間の飯山市の環境の保全に関する基本方針を定める第 3 期環境基本計画を策定する必要がある。この調査は、計画の策定にあたり環境に対する事業所の意識と意識の変遷を把握することを目的とする。

(2) 調査の種類、対象者及び実施概要

この調査の種類と対象者及び実施概要は下表のとおり。

●調査の種類と対象者

対象者	対象者数
市内の事業所（業種別の構成割合を考慮し無作為抽出）	100 事業所

●実施概要

対象地域	調査形式	配布・回収方法	調査時期
飯山市全域	アンケート調査	郵送配布 郵送回収	令和 3 年 2 月 5 日～ 令和 3 年 3 月 15 日

(3) 回収結果

この調査の回収結果は下表のとおり。

●回収結果

調査票配布数	有効回収数	有効回収率
100	56	56.0%

2) 集計方法

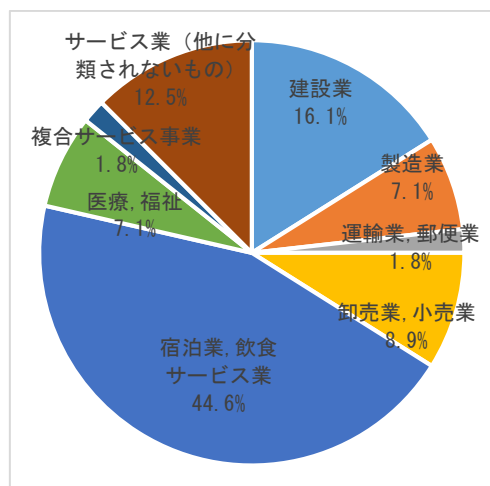
(1) 報告書の見方

- ・本報告書では、回答すべきところが回答されていないものは「無回答」として扱う。
- ・設問の構成比は、回収数を基数として百分率（％）で示している。
- ・比率は全て百分率（％）で表し、小数点以下第 2 位を四捨五入し算出しているため合計が 100%にならない場合がある。
- ・複数回答については、回収数を基数として百分率（％）で示している。したがって、合計値は 100%にならない場合がある。

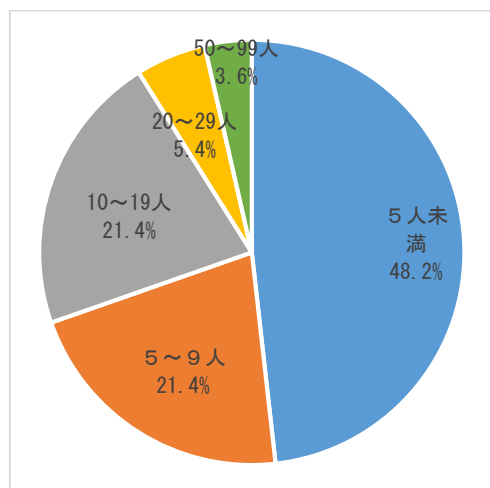
3) 調査結果

1. 貴事業所のことについて

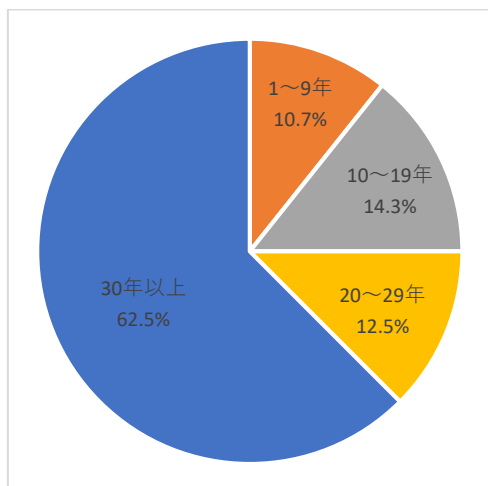
問1 貴事業所の主な業種としてあてはまる番号1つに○をつけてください。



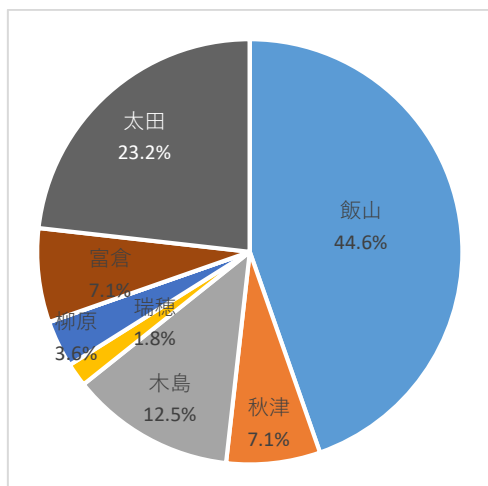
問2 貴事業所の従業員数（令和2年12月現在）は何人ですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。



問3 貴事業所は飯山市で事業を始められて何年になりますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。



問4 貴事業所の所在地として、あてはまる番号1つに○をつけてください。

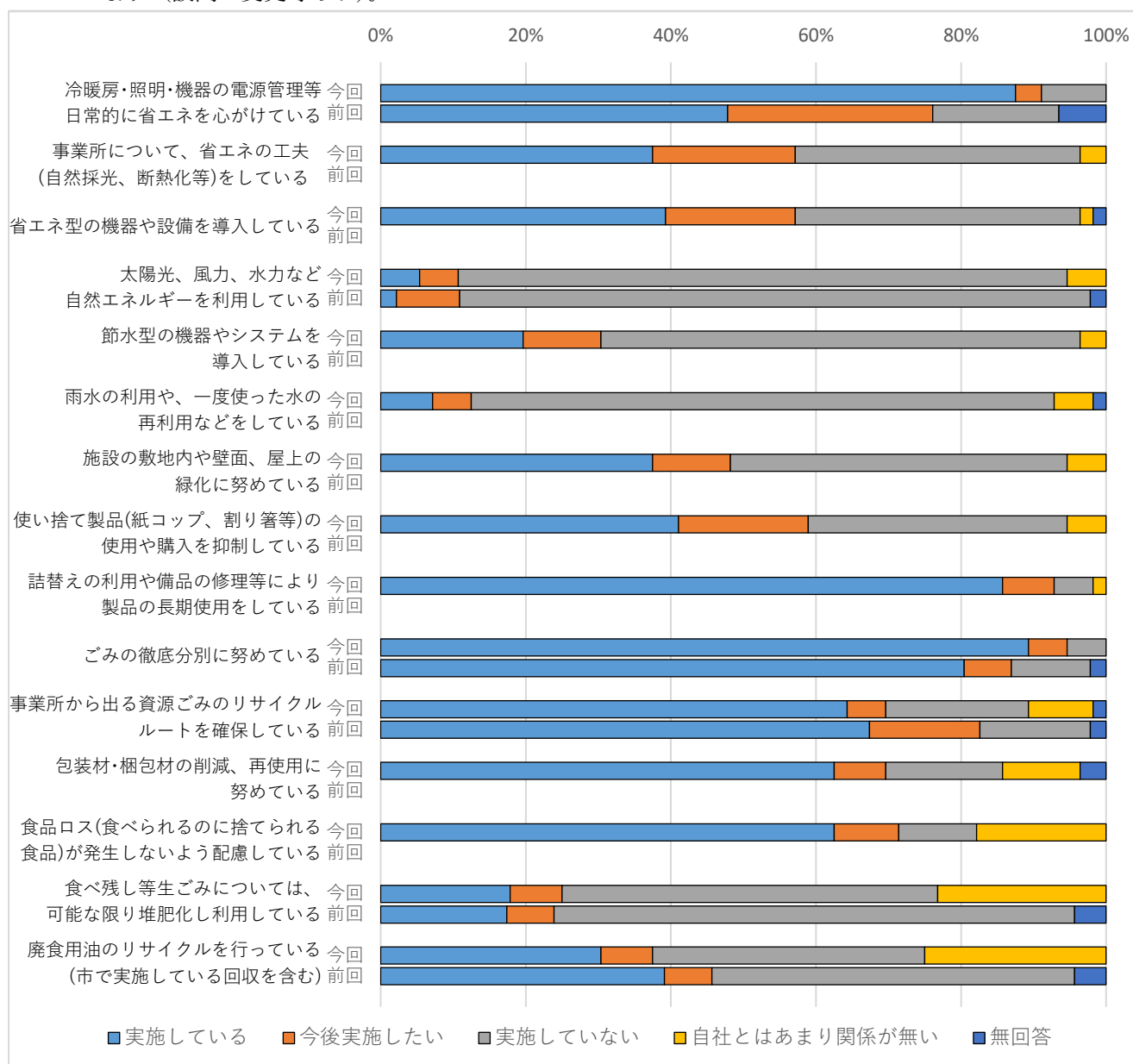


2. 貴事業所の取り組みについて

問8 貴事業所で、環境に関して行っている取り組みはありますか。1～27の設問ごとに、あてはまる番号1つに○をつけてください。

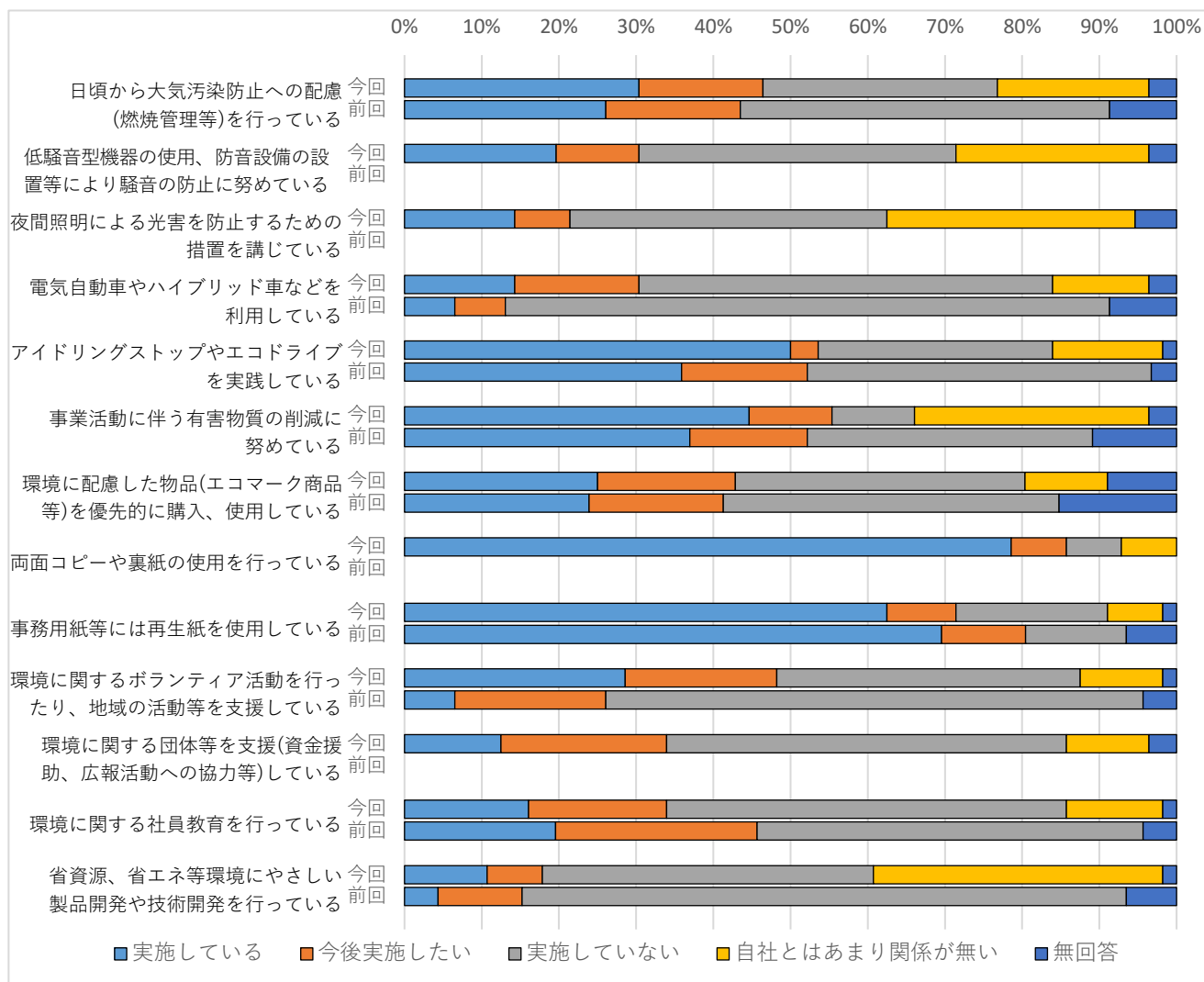
前半の項目について、「実施している」と回答した割合は、「ごみの徹底分別に努めている（89.3%）」が最も高く、「冷暖房・照明・機器の電源管理等日常的に省エネを心がけている（87.5%）」、「詰替えの利用や備品の修理等により製品の長期使用をしている（85.7%）」が続いています。「太陽光、風力、水力など自然エネルギーを利用している（5.4%）」や、「雨水の利用や、一度使った水の再利用などを行っている（7.1%）」では低い割合となっています。

前回調査との比較では、「冷暖房・照明・機器の電源管理等日常的に省エネを心がけている（+39.7pt）」の割合が大きく増加し、「廃食用油のリサイクルを行っている（市で実施している回収を含む）（-8.8pt）」では減少しています（設問の変更等あり）。



後半の項目について、「実施している」と回答した割合は、「両面コピーや裏紙の使用を行っている（78.6%）」や「事務用紙等には再生紙を使用している（62.5%）」で高く、「省資源、省エネ等環境にやさしい製品開発や技術開発を行っている（10.7%）」や「環境に関する団体等を支援（資金援助、広報活動への協力等）している（12.5%）」では低い割合となっています。

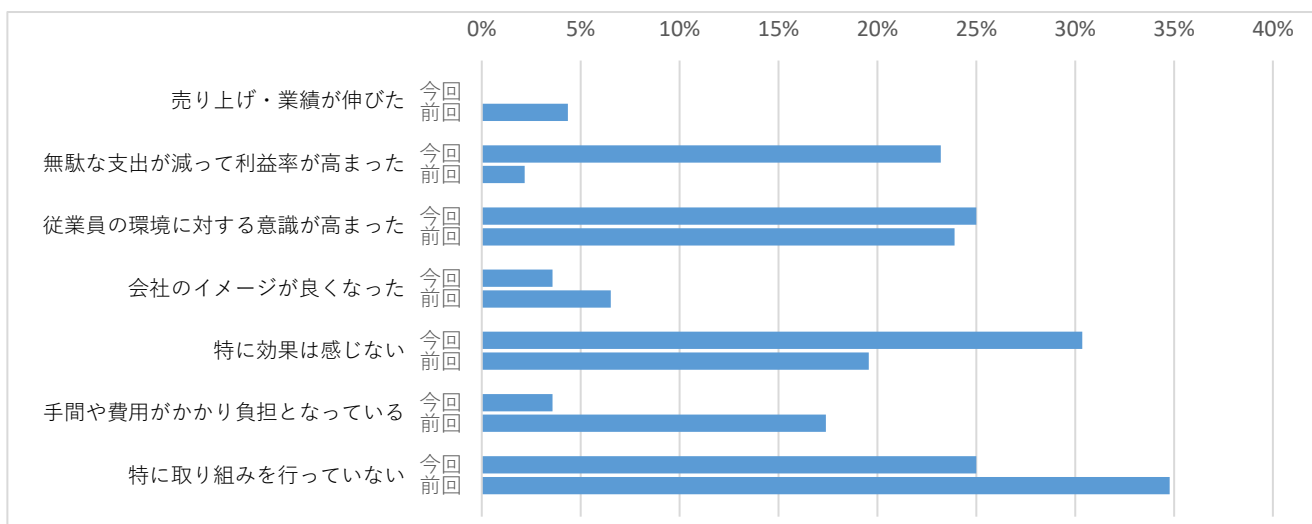
前回調査との比較では、「環境に関するボランティア活動を行ったり、地域の活動等を支援している（+22.0pt）」の割合が大きく増加し、「事務用紙等には再生紙を使用している（-7.1pt）」では減少しています（設問の変更等あり）。



問9 環境への取り組みを行うことで、どのような効果があったとお考えですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

「特に効果は感じない(30.4%)」、「特に取り組みを行っていない(25.0%)」が高い割合となっていますが、「従業員の環境に対する意識が高まった(25.0%)」、「無駄な支出が減って利益率が高まった(23.2%)」との回答も一定の割合があります。

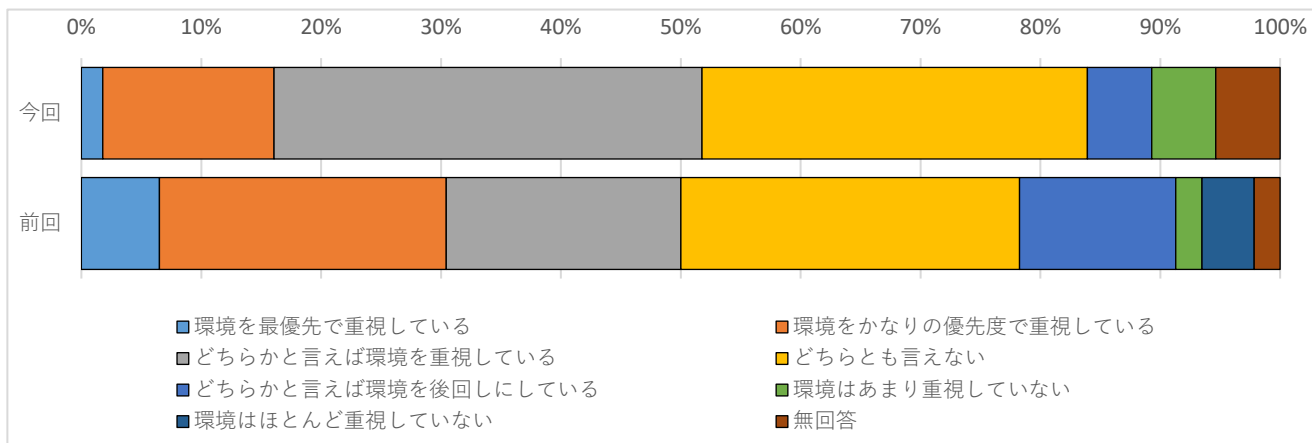
前回調査との比較では、「特に取り組みを行っていない(-9.8pt)」で減少し、「特に効果は感じない(+10.8pt)」で増加しています。



問10 貴事業所において、環境に関する取り組みについてどの程度重視していますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

最も多い回答は、「どちらかと言えば環境を重視している(35.7%)」で、「どちらとも言えない(32.1%)」が続きます。

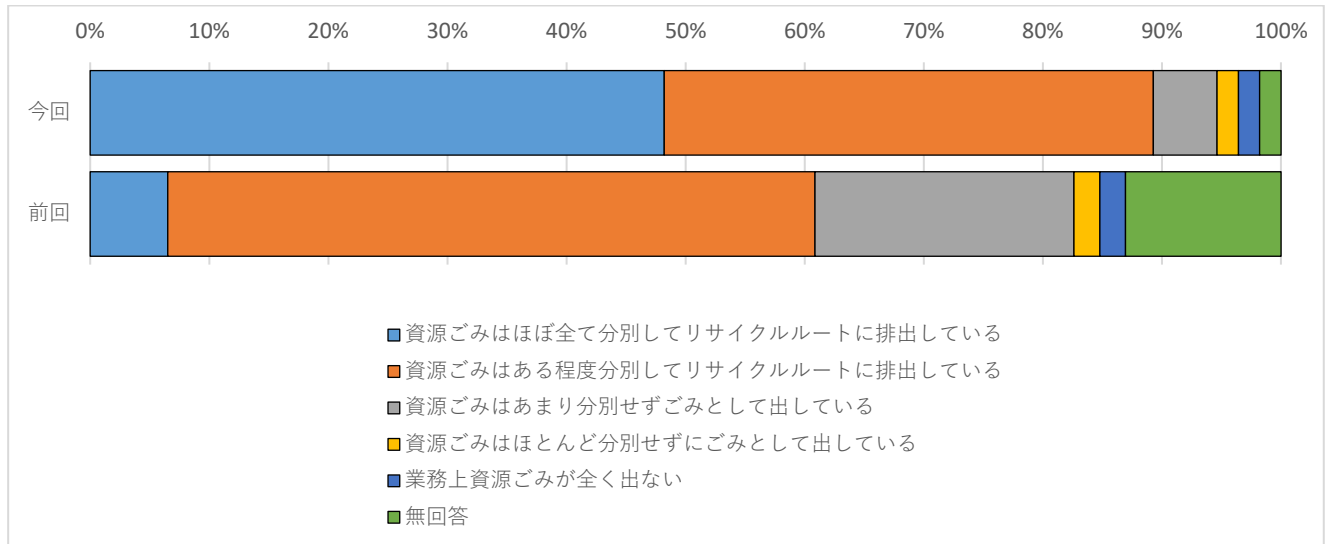
前回調査との比較では、「環境を最優先で重視している(-4.7pt)」、「環境をかなりの優先度で重視している(-9.6pt)」がともに減少していますが、「どちらかと言えば環境を重視している(+16.1pt)」では増加しています。



問11 貴事業所では、資源ごみの分別・リサイクルについてどのような対応をしていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

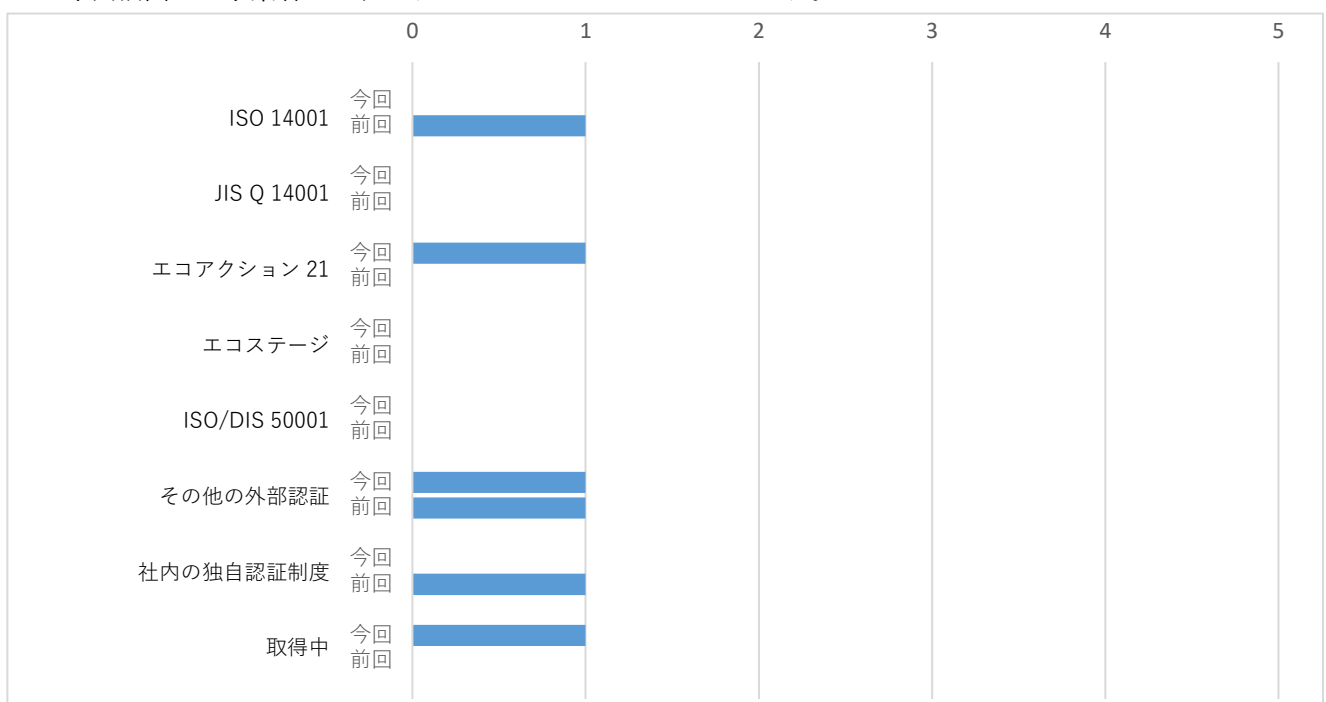
「資源ごみはほぼ全て分別してリサイクルルートに排出している（48.2%）」、「資源ごみはある程度分別してリサイクルルートに排出している（41.1%）」がともに高い割合で、合計で9割弱を占めています。

前回調査との比較では、「ほぼ全て分別してリサイクルルートに排出している」と回答した割合が+41.7ptとなり、7.4倍ほどに増加しています。「あまり分別せずごみとして出している」、「ほとんど分別せずにごみとして出している」はともに減少し、合計で16.8pt減少しました。



問12 貴事業所で認証取得している環境マネジメントシステム等がありますか。取得しているものとしてあてはまる番号すべてに○をつけてください。

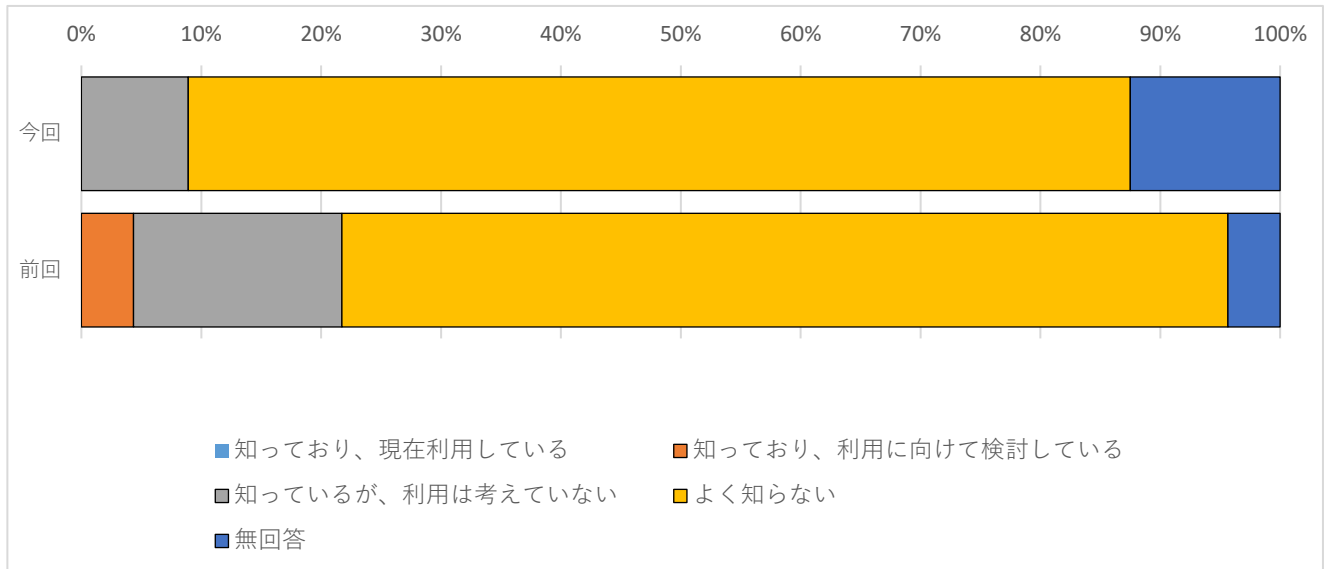
今回抽出した事業者では、いずれも1または0となっています。



問13 貴事業所では、温室効果ガスの削減に係る国内クレジット制度（J-クレジット制度）（※1）についてご存じですか。また、利用していますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

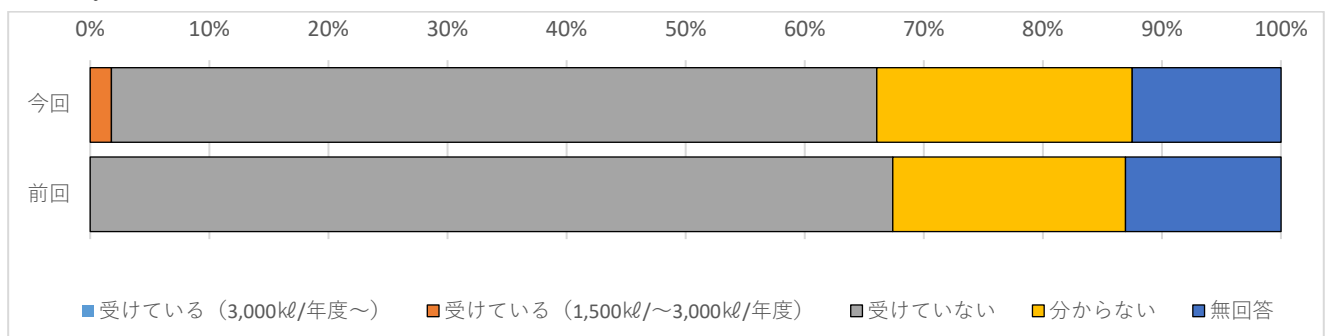
「よく知らない（78.6%）」が最多の回答となっています。「知っている」との回答は8.9%にとどまりました。

前回調査との比較では、「知っている」との回答が-12.8pt となり、半分以下となりました。



問14 貴事業所は、改正省エネ法における特定事業者の指定（※2）を受けていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

「受けている」との回答が1件ありましたが、その他は「受けていない」または「分からない」との回答でした。



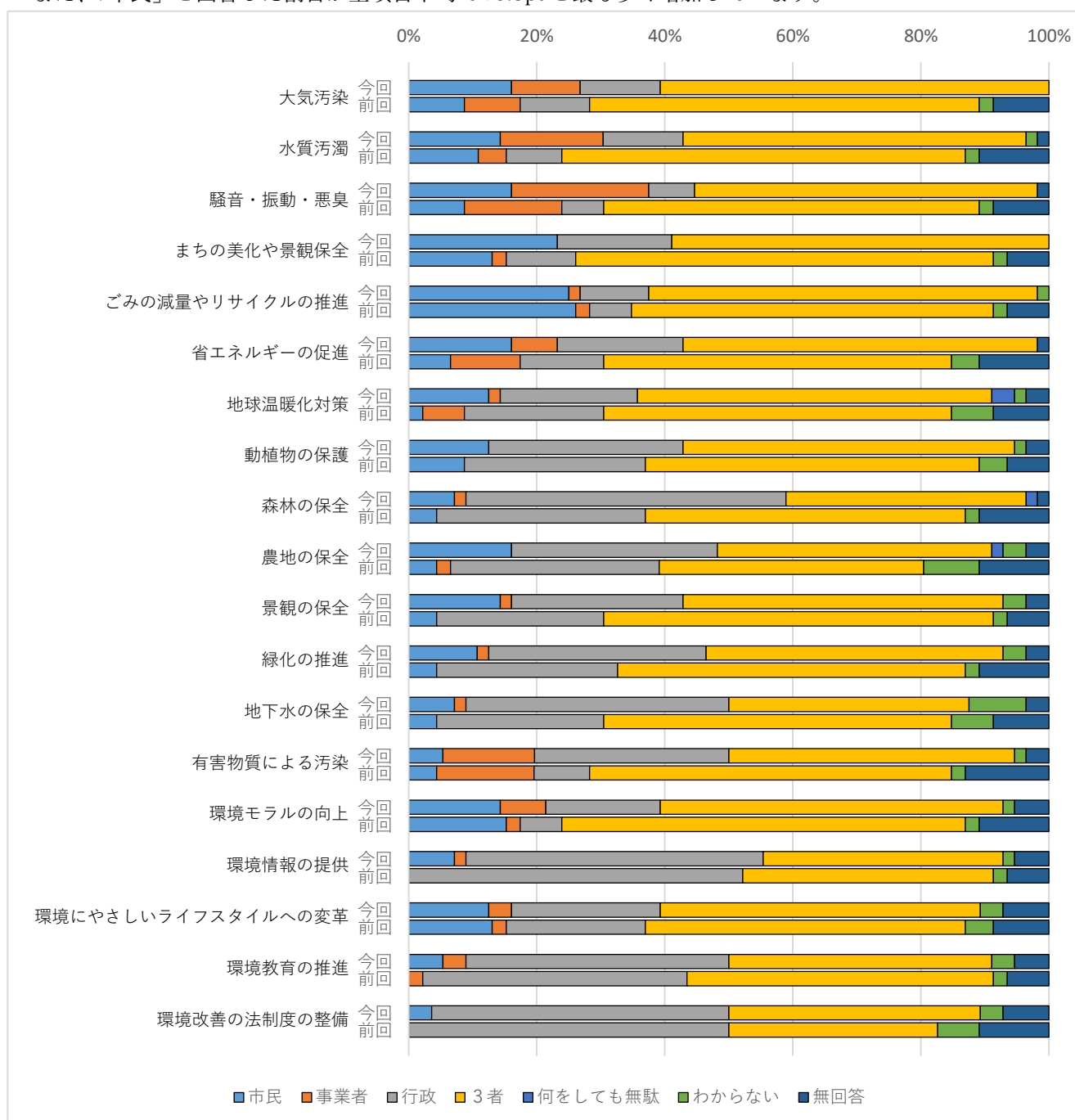
3. 環境問題に対する役割について

問15 貴事業所は、環境に関する問題を解決するために誰の責任や努力が最も大切だと思いますか。

次の表に示した1～19の項目ごとに、最もあてはまる番号1つに○をつけてください。

ほとんどの項目で「3者の協力」が最も多い回答になっていますが、「森林の保全」、「環境改善の法制度の整備」、「環境情報の提供」、「地下水の保全」、「環境教育の推進」では「行政」との回答が最も多くなっています。「市民」との回答が多かった項目は「ごみの減量やリサイクルの推進（25.0%）」や「まちの美化や景観保全（23.2%）」で、「事業者」との回答は、「騒音・振動・悪臭（21.4%）」で多くなっています。

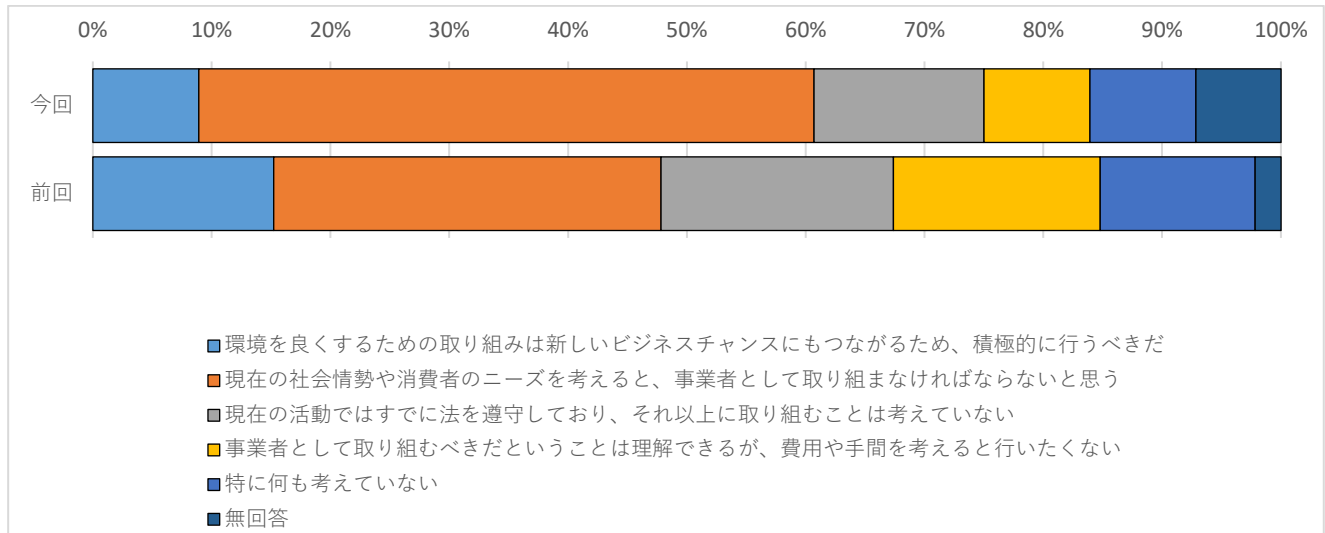
前回調査との比較では、「有害物質による汚染」で「行政」と回答した割合が+21.7pt、「森林の保全」で「行政」と回答した割合が+17.4pt、「地下水の保全」で「行政」と回答した割合が+15.0pt と多く増加しています。また、「市民」と回答した割合が全項目平均で+5.3pt と最も多く増加しています。



問16 貴事業所は、環境を良くするために、事業者としてどのような役割があるとお考えですか。考えに最も近い番号1つに○をつけてください。

「現在の社会情勢や消費者のニーズを考えると、事業者として取り組まなければならないと思う（51.8%）」が半数を超え最多の回答となりました。

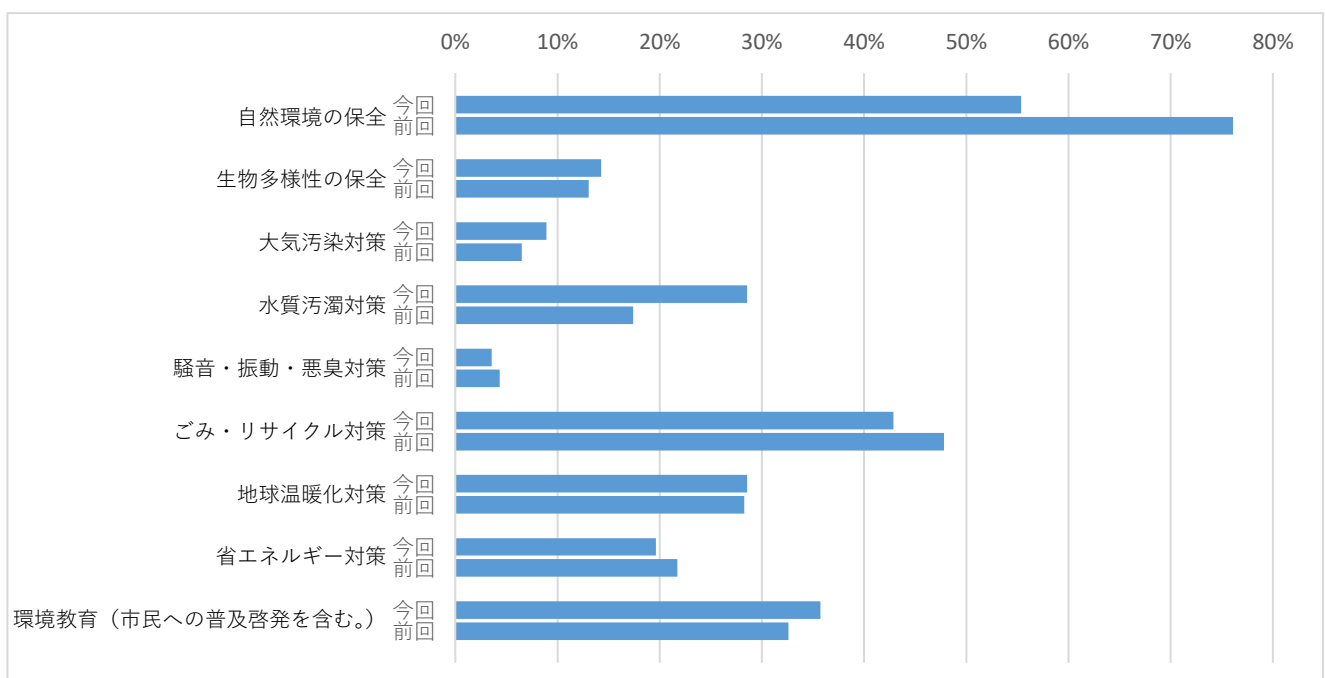
前回調査との比較では、「現在の社会情勢や消費者のニーズを考えると、事業者として取り組まなければならないと思う（+19.2pt）」で最も増加しています。



問17 飯山市が環境対策として特に推進すべきものは何だと思いますか。あてはまる番号に3つまで○をつけてください。

「自然環境の保全（55.4%）」が最も多く、「ごみ・リサイクル対策（42.9%）」、「環境教育（市民への普及啓発を含む。）（35.7%）」が続きます。

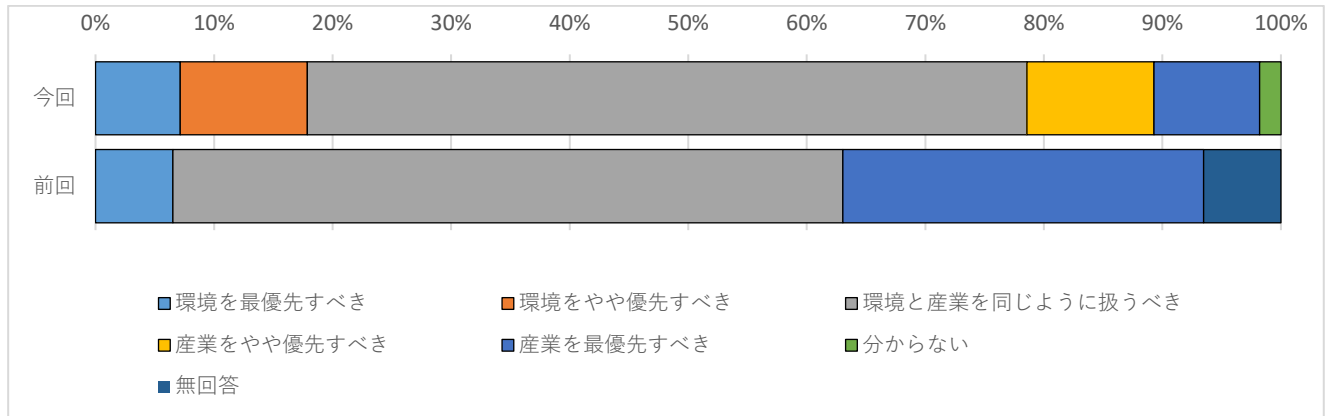
前回調査との比較では、「水質汚濁対策（+11.2pt）」増加し、「自然環境の保全（-20.7pt）」で減少しています。



問18 飯山市は、環境と経済（産業）のどちらを優先すべきだと思いますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

「環境と産業を同じように扱うべき（60.7%）」が最多となり、その他環境と産業の比率はほぼ同程度となりました。

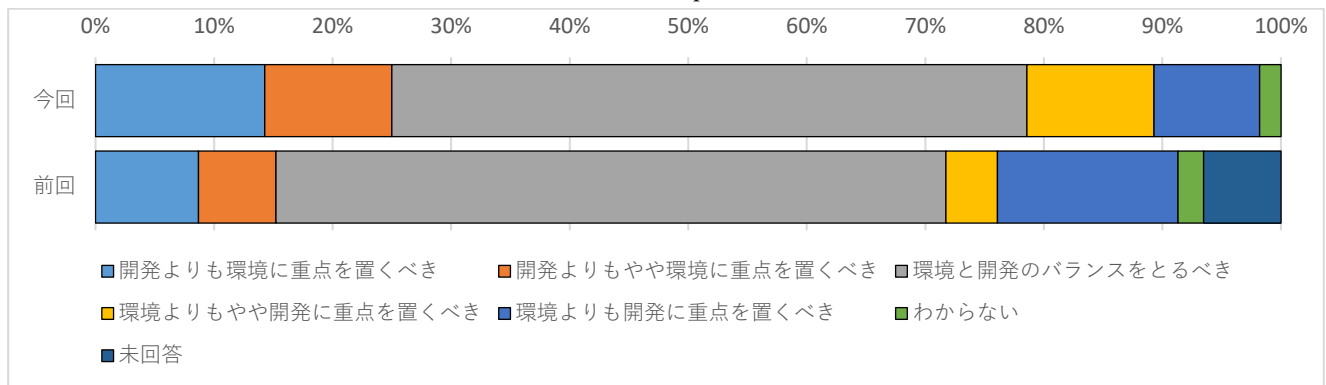
回答項目の細分化により前回調査との単純比較はできませんが、産業より環境を重視する回答の比率が増加しています。



問19 飯山市の施策は、これからしばらくの間（10年間程度）、環境と開発のどちらに重点を置くべきだと思いますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

「環境と開発のバランスをとるべき（53.6%）」が最多の回答となっています。

前回調査との比較では、「開発よりも（やや）環境に重点を置くべき」との回答が合計で9.8pt増加しているほか、「環境よりもやや開発に重点を置くべき（+6.4pt）」も増加しています。



自由意見まとめ

- 自然環境の豊かさが飯山市の強みの1つだと思う。自然環境を活用した経済（産業）の開発に注力してほしい。
- 地元の人にも観光客にも、より魅力ある飯山にしていくためには、この素晴らしい自然環境を生かした開発を、根本から考え、すすめていくことが必要と…「何かが足りない」と感じる市民はそう思っている人が多いのではないかと思います。都会のような施設があればいいというわけではなく、かつ、ただ田舎のままあればいいというわけでもない。相反するようなものをまとめたものというのは、簡単ではなく、アイデア自体も浮かびにくいものです。「環境」に特化した街、という角度から、開発をすすめていただくというのもよいことだと思います。飯山市民は何か変化を待っていると思います。
- これ程の自然の価値をもっと大切にすべき。古民家などの保全、田畑のある風景など県内外の取り組みをもっと参考にして、ぜひ進めて欲しい。森林の整備などから公共施設や飯山駅などの暖房設備ができれば素晴らしいと思う。
- ここ数年、道路の両脇の木の大きさがとても目につきます。環境問題の取り組みとして必要な緑化については詳しい訳ではないので、市として必要な木なのかどうか分かりませんが、電線への被害を目にしたり、冬場は必要以上の日陰で道路が凍ったりしているのもとても気になります。また、市民として見てもだし、外からの来客の方から見ても、とても美しい景観とは思えない場所がたくさん見られます。木の伐採等決まりや金銭面等、簡単な話ではないとは思いますが、いろいろと取り組むべき事の中の上位として予算付けして実施してもらいたいと思います。
- 年寄の人は、夜ゴミを家のまわりで、もやす。分別をいくら言っても出来ない。無理。若い人にキチットした教育をしなくては、と思います。
- 正直な話過疎化が進み、環境より田畑や山が荒れ住みにくくなると思います。綺麗事はいいのですが、若者がもっといなくなり、老人ばかりになります。飯山から雪の降らない所へ移住を考えてます。環境なんて言ってもらえないでしょ？
- 放棄される農地が増え、荒れ果てた里山となっています。その為に獣害も増え危険度も増していると思います。どの様にすれば良いのかは判りませんが観光飯山にとってもマイナスだと思います。何か良い方策は無いものでしょうか。